

会議名	第6回新城地域協議会		公開
日時	平成28年9月8日(木) 午後7時00分～午後9時00分	場所	勤労青少年ホーム 軽運動場
出席者	(委員) 長坂富雄、松下愛三、柿原典子、鈴木喜代治、坂巻邦彦、加藤賢一、 内藤尚武、加藤節子、藤田 廣、石野敏弘、牧野直美、野末史朗、 山本 敏、村田孝司、森 正彦、坂口知子、鈴木健二、石黒 謙治、 上田寿彦、村田博和、竹内浅男、小竹山朋也		
	(事務局) 自治振興事務所：田村所長、黒田主任、林副参事		
欠席者	(委員) 大倉幸二	傍聴者	1名
配布資料	次第、フローチャート、新城地域自治区予算事業計画(案)、ソフト事業(案)(防災、高齢、地域ビジョン)		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

<p><b>1 開会</b> 本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (村田 孝司委員、森 正彦委員、坂口 知子委員)</p> <p><b>2 議事</b> (1) 前回のおさらいとして、平成28年度地域自治区予算執行予算残額より、前年度建議に至らなかったもの及び緊急性の高い防災備品等を整備する説明を行った。 ・消防団備品等整備事業(地域支援団員分防寒着) ・自主防災組織防災活動援助事業(防災備品整備)</p> <p>(2) 平成29年度の地域自治区予算事業計画(案)について 第5回協議会の内容について分科会にて精査をした内容について、説明を行った。採決の結果、異議なしとして案のとおり決定した。 今後の流れとして、9月16日の区長文書で区民の皆さんに回覧。 約3週間(10月7日まで)の間これに関する意見を募集。 市民意見がなければ、10月27日の第7回協議会において、建議書の確認をして、地域意見交換会において会長より市長へ建議する。 建議書については、平成28年度追加分と平成29年度の2通を建議する。 市民意見があった場合は、分科会にて協議し書面にて協議会委員へ報告し、ホームページにて回答をすることに決定した。</p> <p>&lt;主な意見&gt; 事務局：防災専門部会運営事業については、コンサルタントを取り入れて勉強するという考えがあったが、9行政区で考える「防災を考える会(仮)を立ち上げ、いずれは9行政区合同で防災訓練が出来れば良いのではないかということになった。</p>
--

また、第5回協議会及び分科会において防災リーダーの養成ではないが「防災士」を育成していく予算を取り入れる。手上げ制で3名分の育成を行う。研修に参加し資格を取る試験を受けるためその費用及び旅費分を計上する。防災を考える会については会議費及び研修費等について計上していく。

②高齢者の男性外出誘発進事業については、男性が外出できる事業として映画の上映会をやってみることにになりました。主催がどこでやるかという課題が出ましたが、栄町区、東新町地区の老人クラブ等実行委員会を立ち上げ委託していく費用を計上していくことになった。上映回数は3回を見込み、聞きやDVDの借入、チケットの印刷費等を計上していく。

高齢者日常生活支援事業については、資源ごみを出したり電球の取替等、既存の福祉サービスに無いような内容について支援者を地域で募り、高齢者の要望に対して地域通貨を使って実証実験的に行う予算を計上していく。事務局や支援者は誰がやるかという課題があり、分科会で掘り下げて話し合った結果、昨年度委託した民生委員を中心としたピンコロの会に委託できるのではないかと、民生委員も家庭訪問等やりやすくなるという意見がでました。支援者やメニュー等まだ課題は残っていく。地域通貨については1枚1000円のものを500円で6枚つづりにして1000円分を自治区予算から計上していく方法を考えている。一人2冊購入できることとし、準備期間も考え9か月分を予算計上していく。事務用品の消耗品やチケットやパンフレットの印刷費、支援者の保険料も計上していく。

会長：ソフト事業の説明がありましたが、前回分科会を開催したので分科会委員長より補足をお願いしたい。

委員長：今までにないソフト事業の意見が出ました。分科会を開催するたびに課題も出てきて、細かい案件をクリアしてきました。協議をいただいて来年度に向けて準備をしていきたい。

事務局：協議会及び分科会において、防災の話が出ました。地域防災は各行政区で取り組みますが、来年度は9行政区でまとまった会議体が出来上がることになりました。それぞれの自主防災会で防災旗を持っているのですが、合併前の市章の旗となっており9行政区で統一した防災旗を揃えたいということになりました。前回までに各地区より必要な資機材について計上しておりましたが、そこへ追加していくという意見が出ました。

次に、地域協議会では、地域活動交付金の審査や地域自治区予算として新城地区がどのようにすればよくなるか考え市長へ建議していく検討をしています。協議会の委員さんはその年ごとに新たな委員さんや継続している委員さんで考え予算を組むわけですが、4月当初より会長から地域ビジョンがないと、思いつきな予算になる恐れがあるので、新城地区の計画を立てることにより地域の方向性に行くのか柱立てができ枝葉ができると良いのではないかと言われていました。分科会でも地域の計画を立てる予算を計上してはどうかということになりました。

しんしろ城下町の会さんが新城中部計画を立て、計画に基づき地域活動交付金を使って地域を盛り上げてくれています。また、大茶話会等を開催すると、健康、安心安全、にぎわい等の意見が出てきます。また今年度「大茶話会2016」を開催し、防災や子育て等の意見交換をしたいと思っております。しかし、計画を立てると言ってもどうやったら良いかわからないということより、勉強会を開催し計画を立てる準備をするために話し合いを持ち骨子を考えて行けるような予算を計上したらどうかという意見が分科会で出ました。会議費にか

かる予算や勉強会用の講師代等の予算を積算させていただきました。  
第5回協議会で検討し、その後分科会においてソフト事業、防災士及び防災旗、地域計画策定に係る費用を新たに予算計上し、金額を積算した結果、新城地域  
自治区予算について合計7,307千円になったことを報告させていただきます。

委員長：新城の地域ビジョンについては、市民の意見を聞きながら事業を進めましたが、やりっぱなしになってしまうこともあるので、まとめていくことが必要である  
と考えます。具体的な中長期の計画を立てれば、今後の地域自治区予算に使い  
方も考えることができる。骨格を策定することができればよいと思っています。  
物品購入等の予算が前回承認していただきましたが、ソフト事業が今日か  
たまれば平成29年度の地域自治区予算が決まるということになります。

会長：ソフト事業、防災士及び防災旗、地域計画策定に係る費用を新たに予算計上し  
たことについて質疑があればお願いします。

委員：防災旗はいつ使いますか？

会長：各区の自主防災訓練で使うこともありますし、今後9行政区の防災訓練を開催  
しようという展開になっているので、各行政区の本部旗になると思います。有  
事の際で各区民が安心して集まれる本部旗になると思います。

それでは、採決に移ります。

本日新たに報告のあった予算案について賛成の方は拍手をお願いします。

#### 【拍手多数】

会長：平成29年度新城地域自治区予算についてはすべて可決されましたのでよろし  
くお願いします。

### 3 その他

○新城自治区大茶話会事業について

日時：平成28年10月30日（日）午前中開催予定

場所：現在調整中

○平成28年度人材育成事業について

日時：平成28年11月13日（日）から平成28年11月14日（月）予定

場所：長野県白馬村（長野県北部地震）現在調整中

○シンボルマークデザイン募集について 締め切り平成28年9月30日

○次回地域協議会

平成28年10月27日（木）午後7時～

勤労青少年ホーム 2階 軽運動場 引き続き地域意見交換会

○第8回地域協議会（地域協議会運営、地域活動交付金検討等）

平成29年1月19日（木）午後7時～

○第9回地域協議会（地域協議会全般の振り返り、地域活動交付金検討等）

平成29年2月16日（木）午後7時～

### 4 閉会